



この夏、自分の目標を立てて頑張る！

今日で1学期が終わります。この1学期、1年生は69日、2年生から9年生は70日、学校へ登校しました。しっかり勉強できましたか。新しい友達ができましたか。先生ともたくさん話げできましたか。

1学期はいろいろな行事がありました。1年生を迎える集会、和歌山公園での写生会、新国立劇場合唱団の公演、スポーツテスト、これらは1年生から9年生全員が一緒に参加した行事です。特に、スポーツテストは、9年生が運営の中心となって一生懸命頑張ってくれたので、みんなが協力して取り組むことができました。ペアになった上級生が下級生に優しく声をかけ、応援し、思いやりを持って一緒に行動している姿を見ることもできました。さすが伏虎の子供たちと、とても嬉しく思いました。そして、この団結力を、2学期の行事においてもしっかり発揮してほしいと思っています。

さて、いよいよ明日から夏休みです。校長先生から、夏休みの宿題があります。

それは夏休みに「自分の目標を立てて頑張る」ということです。学校から与えられた宿題をするだけでなく、是非自分で何か目標を立てて取り組みましょう。夏休みは、普段よりも、自分で頑張る時間をたくさん持つことができます。

例えば、本を10冊読む、大きな絵をかく、好きなことを調べてまとめる、料理を作る、楽器を弾く、毎朝3キロ走る、腕の筋肉を鍛える、25メートル泳ぐ、漢字を100個覚えるなど。後期課程の皆さんには、部活動を一日も休まず頑張る、高校受験に向け問題集を一冊やりきるなどを目標にする人が多いかもしれません。

何でもいいです。大事なものは、与えられたものではなく、自分でこの夏頑張ることを決めること、そのことに一生懸命取り組むことです。夏休みが明け、みんなが少したくましくなって登校してくれることを期待しています。(1学期終業式 学校長の講話から)



中庭には1年生の育てた朝顔が咲いています。

見守り隊の皆さん、ありがとうございます。

7月初旬、校区を自転車に乗って巡回する中で、見守り隊の方とお話をする機会がありました。この日はとても暑い日で、私は日差しを避け、木陰で見守り活動についての話をうかがっていました。見守り隊の方からは、皆さんの登校状況やあいさつのこと、私からは1学期の学校の様子などを話していましたが、話の途中で見守り隊の方が急に話をやめ、歩道から横断歩道に小走りで駆け出して行かれました。最初はその急な行動が何なのかよく分かりませんでした。



ですが、それは、子供たちが横断歩道を渡りかけたときに、横断歩道に近づく車があったため、見守り隊の方が横断中の旗を差し出し、自分の身体を車の前において子供たちを守ろうと急いでくれたからでした。

子供たちの命を第一に考え、自分の身を車の前に置いて見守ってくれているその姿に、感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

子供たちに大きな事故なくここまで来られたのは見守り隊の皆さんはじめ、交通安全母の会、交通指導員、警察署、そして育友会の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。(学校長 林素秀)